

串間市議会

3月議会 6月議会 9月議会 12月議会

2026年8月

No.53

だより



Kushima City Council No.53 2026.8

URL <https://www.city.kushima.lg.jp/main/council/gikai/index.html>

「議会だよりは串間市のホームページからご覧になれます」

TEL 0987-72-0691 FAX 0987-72-0932

Pick UP!

物価高騰対策 さらに全市民対象に!!

東九州自動車道建設促進日南・串間・志布志地区総決起大会
主催／東九州自動車道建設促進日南・串間・志布志地区協議会



福島小学校 運動会

東九州自動車道建設促進
日南・串間・志布志地区総決起大会

P 3 : 一般質問

P 8 : 5月臨時会・
6月定例会議案審査報告

P11 : 委員会視察報告

P13 : 市民インタビュー
(地域連携組織)

串間市 議会構成

(令和8年5月8日現在)



議長
坂中 喜博



副議長
鈴木 博也

◎総務教育常任委員会 (定員7名)

委員長	児玉 征威
副委員長	木代 誠一郎
委員	川崎 千穂
委員	今江 猛
委員	井手 明人
委員	岩下 幸良
委員	坂中 喜博

◎議会改革調査特別委員会

(定数5名)

委員長	井手 明人
副委員長	菊永 宏親
委員	木代 誠一郎
委員	瀬尾 俊郎
委員	児玉 征威

◎産業厚生常任委員会 (定数6名)

委員長	野辺 俊郎
副委員長	堀 透
委員	菊永 宏親
委員	福留 成人
委員	瀬尾 俊郎
委員	鈴木 博也

◎串間市交流促進調査特別委員会

(定数5名)

委員長	岩下 幸良
副委員長	野辺 俊郎
委員	堀 透
委員	川崎 千穂
委員	今江 猛

◎議会運営委員会 (定数6名)

委員長	岩下 幸良
副委員長	木代 誠一郎
委員	堀 透
委員	野辺 俊郎
委員	菊永 宏親
委員	井手 明人

◎広報広聴調査特別委員会

(定数6名)

委員長	児玉 征威
副委員長	瀬尾 俊郎
委員	福留 成人
委員	川崎 千穂
委員	今江 猛
委員	鈴木 博也

一般質問



市議会議員が市に対して
皆さんの生活にかかわる内容を
質問します。

市長や行政委員会に市政の状況や将来の方
針、住民生活に密接に関わる事項について
質問をすることで、今申間市ではどんなこ
とが行われているか知ることができます。



将来のリアルから 目を背けない



きしるせいいちろう
木代誠一郎議員



動画
視聴

Q 串間市沖のイルカ。法律により事実上駆除はできない。超音波や漁具の改良などの防衛策が一般的には考えられるが、有効な手立ては何かないのか。

A 現時点では有効な手立てがない。今後県や関係機関などと連携し、必要な対応に努めていきたい。

Q 県内をはじめ、大規模な発火に伴い、消防団の重要性がより一層重要になっている。今後の処遇改善を求める声を現職団員から頂戴している。現状認識と見解は。

A これまでの国の指針に基づき、報酬引き上げを進めてきた。活動拠点の整備・装備品の増強なども取り組んできており、処遇改善は重要であると認識している。

Q 福島小学校の建て替え構想では、「将来の市内の小学校統合」の可能性に言及している。それを見越した学校設計は非常に重要なことだが、実際に小学校統合は慎重丁寧に検

討・議論することと市民の理解が不可欠。だからこそ建て替え計画と同時進行で市内小学校の在り方を協議・議論していくことが重要だと考えるが。

A 現在複式学級の学校も多くなっており、教育環境上懸念されている。将来的には小学校の統合もやむを得ない状況であり、建て替えには統合を見据える必要がある。しかしながら、統合にはあくまでも慎重かつ丁寧な議論と市民への説明が必要であると考えている。

Q 市民病院の院長、なぜいまだに決まらないのか。

A 医師不足の中で特に院長職を担う人材確保のハードルが高く、適任者の確保に時間を要している。大学や県と連携しているが、病院の昨今の状況をご理解いただける方を招へいするのは容易ではないと認識している。



市長の政治姿勢について



のべしゅんろう
野辺俊郎議員



動画視聴

市長が就任されて10か月余りが経過し、3月議会では本市の厳しい財政状況についての決意を述べられ、危機的な状況であり財政健全化に取り組んでいく考えを示されました。また、年度末に大口の企業版ふるさと納税もあり、串間市にとっては大変喜ばしいことであります。また大変心配しておりました市民病院においても、新たな医療体制となり、24時間の救急受け入れができるようになり、加えて午後診療も実施すること、市民の方々から大変喜ばれております。

Q ふるさと納税はどうなっているのか。

A 令和7年度の決算額について、約11億2千3百万円の見込み、令和6年度が約11億9千4百万円であり、約6%の減となっております。寄付件数としては、令和7年度は66255件であり、令和6年度の65236件と比較しますと微増となっております。今後は、串間市の情報発信や魅力ある返礼品の充実など、寄付増加につながる取り組みを進めてまいります。

Q 市民病院外来診療の待ち時間の改善策はどうなっているのか。

A 今年度から新たな医療体制の改善が図られていくところであり、まずは患者の来院時間帯が分散されたことに加え、県や宮崎大学など関係機関からの医師派遣により、診療体制の充実が図られ、外来診療待ち時間の短縮につながっています。また、外来の内科診療につきましては、午後2時から4時までの午後診療をあらたに設けております。

Q 基幹産業である農業はどうなっているのか。

A 農業者が厳しい経営環境を乗り越え、将来に希望を持って営農を継続できる環境を整えていくことが重要であると考えています。

Q ナフサを原料とする資材の確保は大丈夫なのか。

A 施設園芸で使用する農業用フィルムをはじめ、多くの資材に供給不足や価格上昇が生じた場合、農業経営に大きな影響を及ぼすものと認識しております。また、農業者が安心して営農を継続できるよう対応してまいります。

Q 今回の里新指定管理者の状況はどうなっているのか。

A 令和8年4月1日からジェイピーティーツアーズ・ジャパン株式会社が行っています。レストラン部門につきましては、調理担当者の退職によりやむを得ず営業を休止されております。

Q その他の質問

・道の駅2期目の新しい取組について
・高松キャンプ公園の指定管理者に相応の利益等が得られる制度設計について



教育行政の重要性



かわさき ちほ
川崎千穂議員



動画視聴

福島高校について

Q 全国枠入試の体制は。

A 県内の中学校に在籍する生徒と同様の扱いになる。

Q 実業系の導入は。

A 実業系については、現状は難しい。今後は従来の普通科を廃止し、『地域創生学・地域創生探究』のさらなる充実、『DXハイスクール』の実践、『地域の強みを活かした教育の展開』など『串間でしか学べない高校』への転換を図る。

Q 連携型中高一貫教育の取組は。

A 連携型の目的や内容について、中学校教職員の意識を変えるため中学校を訪問し説明を行う。福島高校の魅力については、PTA総会時に支援事業や取り組みを発信していく。

Q 通信制の導入は。

A 途中でリタイヤした生徒に対し、再度チャレンジする制度として重要な役割を担っているが、教員の配置などの必要があり厳しい。

串間中学校について

Q グランドの整備計画を問う。

A 現状確認を行い、年次的な整備に向け協議していく。



Q 不登校児童生徒の現状と対策は。

A 中学校においては、昨年度増加傾向にある。(小中学校13人、中学校33人)

Q オンライン配信を行ってはどうか。

A 校長会でICTを活用した学習活動で協議する。生徒の学びを止めない取り組みを進めると同時に、タブレット端末が学校以外で利用できることによる危険性を考慮しながら、慎重に進める。

障害児保育の改正の理由

Q 障害児保育の改正の理由は。

A これまで保育士一人当たり16万円としていたところ、国の財政支援に関する通知において、障害児2名に対し保育士1名の配置を標準としていることから、障害児一人当たり8万円とし、1名の保育士に対し2名の児童を保育した際、改正前の16万円の基準となるよう改正を行った。

何を残し、何を育てるか



ふくどめしげと
福留成人議員



動画視聴

Q 串間中学校の進路と高校の授業料無償化の影響は。

A 私立高校の授業料無償化については影響があり、私立高校への進学者が増えることは福島高校への入学者が減ることにつながると認識。串間中から福島高校への進学者数47名。県内私立高校へ27名、県外私立高校へ16名、通信制など34名。

Q 宮城県の白石市では、閉校した学校施設を活用し、不登校児童生徒を対象とした特色ある教育環境を整備、新たな学びの場の創出や、関係人口・移住人口の増加につながっている。不登校児童生徒への取り組みについて。

A 白石市の「学びの多様化学校（不登校特例校）白石きぼう学園」についての調査・研究を行う。

Q 花火大会を中止し、昨年止した。串間を活性化する方法として、歴史ある文化や資源を活用し、市民の賑わいを創出するところがあるが、これでよいのか。

A 5月28日の総会において福島港花火大会は中止を決定。三大イベントは、本市の

重要な地域資源と認識、今後引き続き開催できるよう検討する。

Q キンカン、せとか、イチゴ、ブドウ、甘藷、マンゴーなどを最大限活用し、農業・漁業・観光を一体化した観光都市串間のための「食の観光ルート」を作る考えは。

A 観光素材の磨き上げや積極的な情報発信に努める。

Q 地域子育て支援センターについて、「すこやか広場」を見学、非常にいい取り組みだと感じた。まずは、ここに注力し、加速させていく必要があるのでは。

A これまで以上に情報発信し、子育て親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、健やかな育ちを支え、将来への定住に繋げたい。



本市の活性化対策



きくながひろちか
菊永宏親議員



動画視聴

Q 本市の人口減少、中東情勢の混乱、食品・資材等の価格の上昇の中で、本市経済の活性化の取り組みについて。

A 本市財政の健全化に向けて各種施策の選択と集中を進め、事業者支援や消費喚起、地場産業の振興に国・県の経済対策の動向を注視し連動した取り組みを進める。

Q 令和7年度一般会計決算見込みと今後の財政運営の取り組みについて。

A 歳入総額が172億1142万円、歳出総額が164億8641万円、形式収支は7億2501万円となる見込み。今後の財政運営については「市債残高の増加」と「基金残高の減少」により大変厳しい状況であるが、令和8年度以降も市民のニーズに沿ったソフト・ハード事業に国・県補助金や交付税措置のある有利な市債などを活用して取り組む。

農業振興対策

Q 農作物の作付け状況を確認する星画像と人工知能（AI）を組み合わせたデジタルトランスフォーメーション（DX）の本市の取り組みについて。

A 県においては昨年度から試験的な取組が行われており、作物によってはばらつきが大きい等の問

題点がある。本市においては確認業務の負担軽減が期待されるため、今後検討する。

Q 本市の新規作物として、国の「指定野菜」に指定されたブロッコリー導入に取り組む考えについて。

A 本年度から試験栽培に取り組み、早急に指定産地の20ha以上の面積拡大に取り組む。

市民病院の運営

Q 市民病院の運営について、令和7年度の決算見込みと今後の運営計画について。

A 令和7年度決算見込みについては、病院事業収益が18億4291万9722円、病院事業費20億4534万7873円になり、2億242万8151円の純損失を計上する見込みである。新年度2ヶ月の外來、入院の利用者数は前年より減少しており、運営状況については非常に厳しい状況にあり、赤字圧縮に向け努力を重ねる。

その他の質問

・市所有のマイクロスバス利用について
・DXの行政の取り組みについて



行政としての 仕事の進め方は これでよいのか



い で あ き と
井手明人議員



動画
視聴

市長の政治姿勢

Q 「福島港花火大会」は今年度当初予算に計上し議決が可決したものであり、一歩的な中止は地方自治の二元代表制の意義に反するものであり、行政としての仕事の進め方としても問題がある。どう考えているのか？

A 開催経費の増大で従来規模の開催が困難になり中止に至った。楽しみにしておられた市民の皆さんには申し訳ない。

Q 5つの政策については具体性とその効果について疑問に思うが、その取り組みの状況は？

A 進捗状況はさまざまだが、各担当部署において取り組んでいる。スタートして間がないので、これから具体的な中身が見えてくる。

都井岬の観光振興について

Q 都井岬の振興に向けてのビジョンづくりと、野生馬の保護と観光に携わる関係者の相互理解と両立を図るための協議会の設置が必要と思われるが、今年度に入つての市の対応は？

A 関係者の一部と話したが、意向は把握していない。（市長）担当課と協議していく。

Q 都井岬にある歌碑・句碑を、現在場所から多くの人が目にするので、できる私有地に移設すべきではないか。関係者の了承は頂いたが市の対応は？



A 進んでいない。（市長）担当課と協議していく。

Q 道の駅には、観光案内・文学碑案内マップがない。設置が必要ではないか？

A 市内観光地への誘導に繋がる重要な取り組みであると認識している。

連携型中高一貫教育について

Q 福島高校の今年度入学者が48名と最少の結果だったが、連携型中高一貫教育の目的が学校現場において形骸化していることもその要因の一つではないか。教育長の今後の取り組みは？

A 市内校長会において、その意義や重要性を伝えるとともに、直接中学校に赴き、目的や取り組み内容について説明を行い、意識改革と理解を深める。

「地域みらい留学制度」の進捗について

Q 成功の鍵となる「福島高校の魅力化」を早く明確にしていけるべきでは？

A 新たな普通科系学科の設置を目指し、「どこでもある高校」から「串間では学べない高校」への転換を図る準備を進めている。

抜本的対策しなければ 市民病院も 市財政も破たん！



こ だ ま さ た け
児玉征威議員



動画
視聴

物価高！黒字の水道料金・国保税引下げよ！

Q イラン攻撃に伴う物価高騰、市民の暮らしは深刻です。延岡市は水道料金基本料金を免除、中学生給食費の半額補助を決めました。9市で一番高い串間市の水道料金5.6億円の黒字の預金で基本料金免除と、国保会計2億1110万円の黒字の基金のうち4200万円を取崩せば1人1万円の国保税引き下げが実現できます。

A 提言を受け検討したい。

人口減、保育所・学校・集落等消滅の恐れ！

Q 串間市の人口は5年間で2041人減の14781人、出生数は前年比39人減の49人、10人以下の保育施設が3園、2つの小学校が新入生ゼロ、10名以下の自治会が1割等消滅の恐れがあります。

A 対策に取り組んでいく。

病院7億円赤字、財調基金は「枯渇」どうする？

Q 市民病院、1年以上院長不在、医師不足。令和8年度約7億円の資金不足の対策は？2041人の人口減で

約2億円の交付税が減る見込みです。財政調整基金残高は3億3663万円、これでは病院支援も災害対応もできません。早急に病院・財政健全化計画を示したい。

花火大会中止、議会軽視は改めよ！

Q 3月議会で認めた花火大会予算、市長が会長の活性化委員会での中止は議会軽視、早急に変更する補正予算を提案すべきです。

A 指摘を受け補正予算を提案する。

温泉レストラン・温浴中止等は協定違反！

Q レストラン中止、3ヶ月の温浴中止、議会・市民には直前の連絡等は協定違反です。

A 「違反でない」と答弁「児玉議員が地方自治法24条2（10）の「調査し指示をしていない」問題点を指摘、「答弁不能」に。



串間市の財政再建



せ おとしろう
瀬尾俊郎議員



動画視聴

Q 令和8年度の予算編成において、昨年度に比べ15億3千万円の削減が打ち出されているが、市政運営に大きな支障はないものか。財政状況が厳しいことは重々承知しているが、市長の見解、対策は。

A 歳入規模に見合った歳出予算の編成を基本とし、歳入の確保に努め、すべての事業について再検証し見直しを行う。

Q 観光振興について、串間市は自然豊かな環境を持つ素晴らしい土地柄であるが、観光誘致をする中で、情報発信はどのような対策を講じられているのか。またその効果は。

A 観光振興については、これまで観光物産プロモーション事業において、観光パンフレットの発行やテレビ取材、インフルエンサーの活用など、特色のある情報発信に努めている。

Q 教育行政について、今年度から福島小学校建て替

えの計画が出されているが、人口減少少子化の中、児童数も年々少なくなり、ある学校では新入生も2、3名と聞きます。福島小学校建て替えに伴い、小学校統合の要素の取り組みはあるのか。

A 今後数年間で、児童数が減少する見込みで、将来的には小学校の統合もやむを得ない状況であるが、小学校は地域住民の交流の場としての役割もあることから、統廃合については慎重かつ丁寧な議論が必要であると考えている。

その他の質問

・市民病院について、赤字経営の解消策、看護師の接遇など



農業資材の 物価高騰支援金



いまえ たけし
今江猛議員



動画視聴

Q 中東情勢を踏まえ、基幹産業である農業の支援策、今後の一次産業の育成について。

A 現在の中東情勢を受け燃油や肥料をはじめとする農業生産資材の価格が一段と上昇しており、地域農業への影響が懸念されております。本市といたしましては、国や県の物価高騰対策や経営安定対策の活用を促し、農業者の負担軽減に努めてまいります。今後は、省エネルギーの推進や肥料費の低減につながる取組を支援し、農業経営の安定と持続可能な農業の推進に努めてまいります。

Q 多様な担い手の育成・確保の施策の展開として、認定農業者や新規就農者の育成・確保、高齢農業者や女性農業者の活動支援など8項目が串間市農業振興基本計画に示してあるが、取り組みられた8項目の評価、課題について。

A 多様な担い手の育成・確保については、これまで認定農業者や新規就農者の育成・確保、女性農業者等への支

援、企業参入の促進、農地の集積・集約化、集落営農の推進など、各種施策を着実に進めてまいりました。その結果、新規就農者の確保や農地集積には一定の成果が見られましたが、認定農業者数の減少や農業従事者の高齢化、労働力不足、集落営農組織の法人化の進展、企業参入や第三者経営継承の推進などが課題となっております。今後は、地域計画を活用した農地の集積・集約を一層推進するとともに、新規就農者及び雇用人材の確保・定着、女性や高齢農業者が活躍できる環境の整備、さらには集落営農の組織強化及び法人化の推進に取り組んでまいります。

その他の質問

・学校安全保健法について
・串間市民病院経営強化プランについて等



常任委員会議案審査報告



令和 8 年 6 月定例会の主な議案内容

令和8年度一般会計補正予算

コミュニティ助成事業

(440万円)

一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、地域コミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に地域の様々な活動に必要な設備及び備品の整備に対して助成を行うもの。

観光物産プロモーション事業

(466万1千円)

地域みらい交付金の交付決定に伴い、インフルエンサー活用プロモーションを実施し、観光情報の発信と誘客促進に取り組むもの。

園芸施設燃料価格高騰支援事業

(950万円)

燃油価格高騰が施設園芸経営に与える影響を緩和し、農業経営の安定化を図るため、施設園芸を営む者等に対し、令和7年4月から令和8年3月までに購入した施設加温に使用した燃料費の一部(4円/ℓ)を支援するもの。

水産業資材高騰支援事業

(411万1千円)

漁業用資材の価格高騰の影響を受けている漁業経営体に対し、令和8年4月から令和9年2月までに漁業を行うために購入した漁具・資材等の経費の一部(2分の1)を支援するもの。(上限10万円)

債務負担行為補正(指定管理業務委託)

施設名称	限度額	期間
串間市市木 デイサービスセンター	29,463 千円	令和9年度から 令和11年度まで
串間市 高松キャンプ公園	14,888 千円	令和9年度から 令和10年度まで
串間市民総合体育館及び 串間市総合運動公園	200,221 千円	令和9年度から 令和11年度まで
串間市立図書館	105,375 千円	令和9年度から 令和11年度まで
串間市文化会館	146,351 千円	令和9年度から 令和11年度まで

カイセツ

●債務負担行為とは…

翌年度以降に支払う必要のある複数年度にわたる契約を、あらかじめ議会の議決や承認を得て結んでおく制度。主に複数年度にわたる委託契約や工事などが対象となる。

●債務負担行為限度額とは…

複数年にわたる契約を結ぶ際、財政負担の上限として予算上で議会の議決を受ける金額のこと。

総務教育常任委員会 委員長 児玉 征威

主な意見

令和8年度串間市一般会計補正予算(第1号)

- コミュニティ助成事業に係る事業補助金については、自治会におけるコミュニティ活動備品の整備としてカラオケセット等の導入に対する補助(220万円)が含まれているが、適正な価格であることを十分に確認したうえで補助金を交付し、事業を実施すべきとの意見。
- 職員の現員現給に係る人件費補正予算。計上時期や執行の在り方については、実務上の運用も見据えた適切な対応を図るべきとの意見。
- 債務負担行為補正予算。総合体育館・運動公園、図書館、文化会館に係る指定管理者業務委託費の積算については、前回と比較して人件費の増額幅が大きく、委員会審査における大きな論点(議論)となったところである。本件は市の財政状況や地域の実情、他の自治体との比較等が十分に尽くされておらず、より客観

的な根拠に基づいた算定を求めたところ、当局から「今後の指定管理者の公募にあたっては、人件費の積算について事前に十分な精査を行い、公募前の段階で議会に対し内容を示す旨の文書」が委員会宛てに提出された。

- これまで議会において指定管理者制度の是非や在り方について指摘がされてきたところですが、十分な検証が行われてこなかったとの意見があり、今後の在り方については現行の運用にとらわれることなく抜本的な見直しを進めるとともに、その進捗状況・検討過程を速やかに議会へ報告し、議会の意見を十分に反映させながら対応すべきとの意見。



産業厚生常任委員会 委員長 野辺 俊郎

主な意見

令和8年度串間市一般会計補正予算(第1号)

- 観光物産プロモーション事業において、増額補正が計上されている。本事業を活用することで観光客や宿泊客の増加を図り、地域経済の活性化につなげることが期待されるが、費用対効果を十分に検証する必要がある。また、事業終了後も関係事業者等と継続した連携を図る仕組みづくりに努めるべき。
- 債務負担行為補正について、人件費が大きく増加していることから、今後も適正な管理運営と経費の精査に努めるとともに、民間のノウハウや創意工夫を十分発揮して施設の利用促進やサービス向上、地域活性化につながる成果が表れるよう、

今後の公募方法についての研究と事業運営のさらなる向上に努めるべき。

令和8年度串間市一般会計補正予算(第2号)

- 園芸振興費において、マンゴー・ピーマン・キンカンなど12品目の施設園芸農家への園芸施設燃料価格高騰支援事業が計上されているが、今後は他の農林水産業者や他業種においても調査を行い、幅広い支援策を検討するべき。



令和8年5月 第3回串間市議会臨時会 議案等の審議結果及び各議員評決

			議決結果	議決日	鈴木博也	堀透	野辺俊郎	菊永宏親	福留成人	川崎千穂	今江猛	瀬尾俊郎	井手明人	岩下幸良	児玉征威	木代誠一郎	坂中喜博
市長提出議案	報告第3号	市税条例の一部を改正する条例の専決報告について	原案承認	5月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	報告第4号	串間市国民健康保険税条例及び串間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決報告について	原案承認	5月8日	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	-
	議案第39号	串間市行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決	5月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○賛成 ×反対 △棄権 -欠席等 -採決なし ※議長は採決に加わらないので「-」で表示。可否同数のときは、議長の決するところによる。

令和8年6月 第4回串間市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員評決

			議決結果	議決日	鈴木博也	堀透	野辺俊郎	菊永宏親	福留成人	川崎千穂	今江猛	瀬尾俊郎	井手明人	岩下幸良	児玉征威	木代誠一郎	坂中喜博
市長提出議案	報告第5号	和解及び損害賠償の額の決定についての専決報告について	終了	6月11日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告第6号	令和7年度串間市一般会計繰越明許費繰越計算書について	終了	6月11日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告第7号	令和7年度串間市水道事業会計繰越明許費繰越計算書について	終了	6月11日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告第8号	串間市土地開発公社の経営状況について	終了	6月11日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	議案第40号	令和8年度串間市一般会計補正予算（第1号）	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
	議案第41号	令和8年度串間市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
	議案第42号	令和8年度串間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第43号	令和8年度串間市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第44号	令和8年度串間市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第45号	令和8年度串間市介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第46号	串間市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第47号	串間市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第48号	串間市監査委員条例の一部を改正する条例	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第49号	串間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第50号	串間市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第51号	串間市上下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第52号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第53号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第54号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第55号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第56号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第57号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第58号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第59号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第60号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第61号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第62号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第63号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第64号	農業委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案同意	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第65号	令和8年度串間市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○賛成 ×反対 △棄権 -欠席等 -採決なし ※議長は採決に加わらないので「-」で表示。可否同数のときは、議長の決するところによる。

令和8年度 常任委員会管内視察報告

◎総務教育常任委員会

調査期間：令和8年5月26日

国民スポーツ大会推進課、FM戦略課、市民協働課、財務課、教育課、市民病院の職員より、それぞれの施設・課の現状等についてお話を伺い、意見交換を行いました。



◎産業厚生常任委員会

調査期間：令和8年5月26日、6月16日

下記の施設へ伺い、それぞれの現状と今後の展望等についてお話を聞き、意見交換を行いました。

○5月26日

- 串間市社会福祉協議会
(ごんべえ@ななしルーム)
- 社会福祉法人むつみ会
(りんぽかん認定こども園・
串間市病児保育センター)
- 市木石原川河川改修橋梁上部
工事現場
- 大東堂園橋工事現場

○6月16日

- 黒瀬水産株式会社



管内視察を受け入れていただいた関係機関におかれましては、お忙しい中ありがとうございました。

令和8年度 特別委員会調査活動報告

4月に交流促進調査特別委員会が要望活動及び調査活動を実施しました。

◎交流促進調査特別委員会

活動期間：令和8年4月24日～25日

※宮崎県大阪事務所

スポーツキャンプに関する情報交換等のため、表敬訪問させていただきました。

※シオノギ製薬女子ソフトボール部

毎年串間市でキャンプをさせていただいているシオノギ製薬女子ソフトボール部が出場した『J.D.LEAGUE（前半節）』（兵庫県尼崎市ベイコム野球場にて開催）の応援観戦を行いました。



シオノギ製薬女子ソフトボール部



シオノギ製薬女子ソフトボール部

行政視察を受け入れていただいた関係機関におかれましては、お忙しい中ありがとうございました。

川崎 千穂議員、今江 猛議員の 市議会議員十五年 永年勤続議員表彰について



令和8年5月27日に開催された第102回全国市議会議長会定期総会において、川崎千穂議員と今江猛議員が市議会議員十五年永年勤続議員として表彰を受けられましたので、6月定例会において報告いたしました。

広報広聴調査特別委員会紹介



上段 左：鈴木 博也 委員

上段 中央左：今江 猛 委員

上段 中央右：川崎 千穂 委員

上段 右：福留 成人 委員

下段 左：児玉 征威 委員長

下段 右：瀬尾 俊郎 副委員長

私たちのまちの声「市民インタビュー」

今回の市民インタビューは、6地区において設立されている「地域連携組織」の代表の方にお話を伺いました。

福島地区の課題と向き合い、良好な社会を守り育てる必要から「未来を変えよう福島地区のために」を掲げ、他の団体と連携しながら令和6年6月から活動をスタートさせました。

Q：地域連携組織を運営していくうえでの地域の課題は？

「既存の多くの団体にも共通している課題であります人手不足「人口減少」です。」

Q：市に支援してほしいことは？

「設立後に活動を推進するため「市と地域づくりパートナーシップ協定」を締結したことから、この協定の主旨に基づく協働活動の支援を望んでおります。」

Q：将来的にどのような地域にしていきたいですか？

「今後とも人口減少は加速するものと推測されますが、『Fukushima 支え隊』の活動が地域住民に必要とされ、生まれ育った人々が将来にわたり、我が「ふるさと串間」を誇れるような市（町や地域）にしていきたいです。」



Fukushima 支え隊 河野 日出男さん(福島地区)

北方前田地区において、土木工事全般、解体工事等を行う会社を経営しています。この会の会長として、安心安全で心豊かに暮らしていける地域づくりのため微力ながらお手伝いしています。



Q：地域連携組織を運営していくうえでの地域の課題は？

「自分の力を地域のために活かしたいと思っても、それらを繋ぐシステムがこれまでなかなか存立してこなかった。地区内にある様々な組織を繋ぎ、人と人を繋いでいくことが「郷の会」の役割だと思っています。」

Q：市に支援してほしいことは？

「活動への支援助成を今後もお願いしたいですね。一つは活動拠点の確保。そして活動助成金の支援。郷の会として自ら活動資金を生み出す事業も必要ですが、なかなか難しいのが現状です。その他、課題解決に向けた様々な情報提供支援もお願いしたいところです。」

Q：将来的にどのような地域にしていきたいですか？

「地域人口も確実に減少していく中で、地域に住む一人一人が自分のできることで分担し合ったり声を掛け合ったりすることで、互いに顔の見える地域生活が送れるようになるのでは。それが「安心安全」や「心の豊かさ」に繋がるのではないのでしょうか。」

北方秋山郷の会 有嶋 由紀夫さん(北方地区)

農業（甘藷）をしております。大東地区で子供の見守り活動を続けて27年、現在は大東地区地域連携組織設立準備委員会の会長を担っています。

Q：地域連携組織を運営していくうえでの地域の課題は？

「今後、本組織に移行し地域連携組織に携わる方々がいかに地域の課題を把握できるかが重要です。南海トラフ地震の際に、津波被害はなくとも空き家が多く通電火災の危険性が高いです。1件1件空き家にアプローチして防火対策を講じる必要があります。他地区と同じように一人暮らしの高齢者が多いため、移動交通支援の確保も大きな課題だと感じています。」



Q：市に支援してほしいことは？

「行政からの財政的な支援はもちろんですが、組織として何かを取り組もうとするときの公共的場所の提供は必須です。また大東地区だけでなく串間市民が積極的に集えるような企画や取り組みに対して、全面的なご協力をお願いしたいです。市議会には、組織と対等な立場で、距離を置かずに協力して汗を流す姿勢を見せてほしいですね。」

Q：将来的にどのような地域にしていきたいですか？

「子供からご年配の方まで集まって一緒にできるイベントをやりたいですね。地区住民参加型の運動会やお祭り、のど自慢大会などみんなが集まって楽しく会話することが本当に大切なことだと思います。数年に一度で構わないので、大東地区だけでなく全地区の組織が一緒になって大きなことを成し遂げることも重要ではないでしょうか。「自分が地元で何ができるか、恩返しできるか」と考えて行動できる人を一人でも増やしたいですね。」

大東地区地域連携組織設立準備委員会 蓑輪 英臣さん(大東地区)

昭和22年4月生まれの79歳、高校卒業後神奈川県湘南地区の化学会社で42年勤務。2009年2月に親の介護でUターンし、現在妻との二人暮らし。趣味は下手なゴルフ。



Q：地域連携組織を運営していくうえでの地域の課題は？

「本城地区は少子高齢化が進み、現在の高齢化率が60.68%。一人暮らしの住民も多く、互助輸送やお助け隊の活動が増加する中、組織役員・スタッフも高齢化で運営に苦慮。若返りの後継者づくりが大きな課題となる。」

Q：市に支援してほしいことは？

「組織を運営するうえで、地域の努力のみでは問題解消に至らない。今後さらに進む高齢化社会を踏まえ、担当部署のみでなく行政全体で地域と共に手を取り合い、協力・役割分担体制で住みよい地域づくりに注力願いたい。」

Q：将来的にどのような地域にしていきたいですか？

「私共は、地域住民との「絆」を大切に運営。今後もさらなる精度アップを目指し進みたい。欲を言えば、地域の資源を活用し観光客や移住者を呼び込み活性化して、本城温泉の集客倍増を望みたい。」

まちづくり協議会「チーム本城」 島田 正弘さん(本城地区)

都井地区あかり会の谷村です。

あかり会では、「みんなで助け合う明るいまちづくり」をスローガンに、3つの柱『福祉部会（互助輸送等）』、『防災部会（津波、災害訓練等）』、『地域づくり部会（花の植栽、案山子の設置、浜の清掃等）』及び『その他（お助け作業等）』、また、岬食堂、まつり都井等の協力をしています。



Q：地域連携組織を運営していくうえでの地域の課題は？

「今後、この活動を継続していくためには、若い人等の協力、後継者育成だと思います。現在、あかり会も高齢化している状況です。」

Q：市に支援してほしいことは？

「現在、市の方からは予算等で協力支援してもらっています。今後は、互助輸送等で串間市内等への買い物代行、病院等への輸送をお願いしたいと思います。現在、あかり会の互助輸送は都井一円だけです。」

Q：将来的にどのような地域にしていきたいですか？

「現在、都井地区の人口は600人強ぐらいだと聞いています。今後さらに減少傾向で、しかも高齢化も進んでくると思うので、ひとりひとりが前向きに取り組み、無理せず明るい都井のまちづくりをしていけばよいと思います。」

都井地区あかり会 谷村 誠也さん(都井地区)

現在、妻と2人で水稻と露地みかんを栽培しています。市木地区の自治会活動を通じて、地域に根ざしたまちづくりに貢献していきたいです。

Q：地域連携組織を運営していくうえでの地域の課題とは？

「人口減少が進む中、移住者や若い世代を含め、多くの皆さんに地域活動や行事への参加がまだまだ浸透していないことが課題です。」

Q：市に支援してほしいことは？

「若者が移住・定住しやすいように、安定した仕事の確保や農業技術を学べる支援が必要と考えます。その為に、行政と地域が連携した仕組みづくりを進めて頂きたいと思います。」

Q：将来的にどのような地域にしていきたいですか？

「人口の維持・増加を目指し、地域の魅力向上と生活の不便さの解消に取り組みたい。そうすることで、移住者や若者が安心して、農業に携わり定住できる地域を目指していきたいです。」

絆の里いちき 阿萬 光弘さん(市木地区)



市議会に対するご意見をお聞かせください。

※ いただいたご意見については、今後の参考とさせていただくほか、議会だよりの紙面でご紹介することがございます。
また、紙面での紹介にあたり、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。ご了承ください。

▲点線に沿ってお切りください。 ※お手数ですが投函いただく際は、必ず**不要になった**はがきなど厚紙に全面密着で貼り付けてください。

編集後記

編集委員 鈴木 博也

議会での議論や決定は、市民の皆さまの暮らしと地域の未来につながります。だからこそ、その想いや内容を分かりやすくお伝えしていく事が大切だと考えています。

本委員会では、「手に取りたくなる議会だより」を目指し、親しみやすい紙面づくりに努めております。この議会だよりが、議会を身近に感じるきっかけとなれば幸いです。

今後とも市民の皆さまの声を大切にしながら、より良い串間の未来に向けて取り組んでまいります。

POSTCARD

料金受取人払郵便

日南局承認

996

差出有効期間
令和9年1月
31日まで

(切手不要)

8 8 8 8 7 9 0

宮崎県串間市大字西方5550

串間市役所議会事務局 行



議会傍聴のご案内

串間市議会では、3月、6月、9月、12月の定例会や臨時会で、市民の皆様の生活に関係の深い議案などを審議しています。

「市民に信頼され、役立つ議会づくり」を基本理念に「串間市議会基本条例」を制定し、市民の声を市政に反映すべく議会運営と行政が一体となって取り組んでおります。

一人でも多くの市民の皆様に、開かれた議会をご理解いただく上でも、ぜひ、議会の様子を聞いてみませんか。

また、串間市議会の様子については、パソコンやスマートフォン、タブレットで議会中継の様子がご覧になれるほか、過去の映像についても視聴可能です。

串間市議会

検索



傍聴に関するお問い合わせがありましたら、議会事務局（☎72-0691）までご連絡ください。

なお、次回9月定例会は、令和8年9月7日（月）開会予定です。正式な開会日や会期日程等については、決まり次第、議会のウェブサイト等でお知らせいたします。